

2022(令和4)年6月16日 報道発表資料
[本リリース発信元] ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)



あの衝撃を再び。

「THE GREAT TAMER」(2019年)も記憶に新しいギリシャの振付家・
ディミトリス・パパイオアヌーが最新作で約3年ぶりに来日!

ディミトリス・パパイオアヌー
「TRANSVERSE ORIENTATION」

2022年8月10日(水)、11日(木・祝)
ロームシアター京都 サウスホール

[本リリースに関するお問合せ先]

ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) 広報担当:松本、山形
電話:075-771-6051(9:00~17:00) FAX:075-746-3366 Email:press@rohmtheatrekkyoto.jp

■ 企画趣旨

2004年アテネ五輪の開閉会式の演出を手がけ、近年ではピナ・バウシュ亡き後のヴッパタール舞踊団から初のゲスト振付家に指名されるなど、世界のアートシーンでその存在感が際立つディミトリス・パパイオアヌー。

今回の来日では、最新作『TRANSVERSE ORIENTATION』を上演。本作品は、当初2020年のアヴィニヨン国際演劇祭のオープニング・プログラム(教皇庁での上演)として予定されていたものですが、コロナ禍で中止を余儀なくされ、翌年のリヨン・ダンス・ビエンナーレで初演にこぎつけた作品です。

点滅する光、影、雄牛(ミノタウロス)、男たち、女神や聖母を思わせる女(元ピナ・バウシュ ヴッパタール舞踊団のブレアンナ・オマラが演じる)…。パパイオアヌーのルーツである絵画、ギリシャ神話を素材に身体のムーブメントが描く場面が次々と展開。鮮烈さとユーモアに溢れた視覚的印象が、ヴィヴァルディの音色とともに、私たちが幻想的な劇場体験へと誘います。2021年の初演以来、世界各地で大きな反響を呼んでいる待望の新作にどうぞご期待ください。

※Transverse Orientation…蛾などの昆虫が、月などの遠方の光源に対して一定の角度を保ちながら飛ぶ感覚反応のこと。光源が近距離の人工の光となると、飛翔方向の角度が変化してしまう。

コンセプト・ヴィジュアル・演出：ディミトリス・パパイオアヌー

音楽：A. ヴィヴァルディ/ヴァイオリン協奏曲 変ロ長調 RV583 II Andante

世界初演：2021年6月2日 (仏リヨン・ダンス・ビエンナーレ)

以下写真すべて©Julian Mommert



■各地の舞台評

「ディミトリス・パパイオアヌーは、相反することを両立させる矛盾の達人だ。彼は崇高な絵画を創り出し、不条理で瞬間を切り裂き、美と嫌悪、奇跡、喜劇を交差させる」

(The Guardian, イギリス, 2021年10月22日)

「*Transverse Orientation* は、パパイオアヌーがいかに優れた劇場の魔術師でありイマジストであるかを改めて示すものである」★★★★

(The Times, イギリス, 2021年10月22日)

「パパイオアヌーの他の作品と同様に、この作品は綿密に創られ、強烈な視覚体験をもたらす」

(The New York Times, アメリカ,
2021年6月8日)

「ボッティチェリのヴィーナスを演じる
ブレアンナ・オマラに見るピナ・バウシ
ユのレガシー」

(Corriere della Sera, イタリア,
2021年9月28日)



「ディミトリス・パパイオアヌーの新しい創造の衝撃波が、リヨン・ダンス・ビエンナーレ・フェスティバルを震撼させる」

(franceinfo:culture, フランス, 2021年6月3日)



「*Transverse Orientation* は、忘れがたいイメージの数々を表現している。不条理、低俗と崇高の混淆、美と嫌悪が交差し、グロテスクな瞑想の世界へと没入する……。

パパイオアヌーの世界は、理性をはるかに超えた、新しい現実へと観る者を誘う」

(Aktuálně.cz, チェコ, 2021年6月16日)

■日本ツアー特設ウェブサイト（埼玉・京都）

https://rohmtheatrekkyoto.jp/lp/transverse_saitama_kyoto/



■プロフィール

ディミトリス・パパイオアヌー Dimitris Papaioannou

1964年アテネ生まれ。ギリシャの伝説的美術家ヤニス・ツァロウチスの元で学んだ後に、同国の代表的な美術学校 アテネ美術学校で学ぶ。美術家として活動を始め、舞台芸術のアーティストとして知られるようになる前には、画家や漫画作家として国際的に認められていた。NYでダンスを学んだのち、

1986年にエダフォス・ダンス・シアターを設立。以後、フィジカル・シアター、実験的ダンス、パフォーマンス・アートを融合した独自の舞台創作を展開するきっかけとなる。2004年アテネ五輪の開閉会式の演出を手がけ、世界的に注目を集める。その後も、ギリシャ国立劇場の柿落しを飾った『NOWHERE』(09年)やパラス劇場『INSIDE』(11年)、

『PRIMAL MATTER』(12年)、初の大規模な世界ツアーを行った『STILL LIFE』(14年)、アゼルバイジャン・ヨーロッパ競技大会の開会式『ORIGINS』(15年)のほか、

2019年に日本初上陸となった『THE GREAT TAMER』(17年)などを発表。2018年5月にはヴッパタール舞踊団の委嘱により『SINCE SHE』を振付・演出。ピナ・バウシュ亡き後、初めて新作を発表した振付家として大きな話題を呼んだ。2020年9月、コロナ禍で自身が出演するデュオ作品『INK』を創作発表。2021年6月初演の最新作

『TRANSVERSE ORIENTATION』は、2022年英国ローレンス・オリヴィエ賞の「最優秀新作ダンス作品」部門にノミネートされ、世界30か国以上で上演予定。

www.dimitrispapaioannou.com/en



■ 公演概要

ディミトリス・パパイオアヌー

「TRANSVERSE ORIENTATION (トランスヴァース・オリエンテーション)」

日時：2022年8月10日(水) 19:00 開演、11日(木・祝) 14:00 開演★☆

★上演終了後に、ディミトリス・パパイオアヌーによるアフタートークを実施(日英通訳あり)

☆託児サービスあり。詳細は劇場WEBサイトをご覧ください。

※新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮し公演日程を変更しました

会場：サウスホール

チケット料金：全席指定 | 1階席 6,000円、2階席 5,000円、ユース(25歳以下) 3,000円、18歳以下 1,500円

※ユースおよび18歳以下チケットご購入者は、公演当日、受付にて年齢が確認出来る証明書をご提示ください

※未就学児入場不可。12歳以下は保護者同伴のうえご来場ください。

チケット発売日：2022年6月11日(土) 一般発売開始 **【チケット好評発売中】**

チケット取扱：

- オンラインチケット 24時間購入可※要事前登録(無料)
<https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>
- ロームシアター京都チケットカウンター
TEL.075-746-3201(窓口・電話とも 10:00~19:00/年中無休※臨時休館日を除く)
- 京都コンサートホールチケットカウンター
TEL.075-711-3231(窓口・電話とも 10:00~17:00/第1・3月曜日休館※休日の場合は翌日)
- チケットぴあ：<https://t.pia.jp/>《Pコード：513-053》

主催：ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

共同製作：アヴィニヨン演劇祭、リヨン・ダンス・ビエンナーレ 2021、ダンス・アンブレラ/サドラーズ・ウェルズ劇場、カンパニア・デイ・フェスティバル財団/ナポリ・テアトロ・フェスティバル・イタリア、バルセロナ・グレック・フェスティバル、オランダ・フェスティバル-アムステルダム、ルミナート・フェスティバル(トロント)/TO ライヴ、ニュー・ビジョン・フェスティバル(香港)、レックリングハウゼン・ルール演劇祭、彩の国さいたま芸術劇場/ロームシアター京都、スタンフォード・ライヴ/スタンフォード大学、ポルト市立劇場、パリ市立劇場/シャトレ座、UCLA パフォーミング・アーツ・センター

助成：Dance Reflections by Van Cleef & Arpels、文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

後援：駐日ギリシャ大使館、京都新聞

● 日本ツアー：埼玉公演

〈埼玉公演〉 7/28(木)~31(日) 彩の国さいたま芸術劇場 大ホール

<https://www.saf.or.jp/arthall/stages/detail/93564/>